

冬至...といえは、ゆず!



“千切り”ならぬ“百切り”ほどの厚さにして、お鍋の中へ投入。



←地元の方から頂いたゆず 20個ほどを材料にゆず茶の素を患者様方と作った。



二月二十二日を前にゆず茶作りが行われた。リハビリ室は“ゆず茶製造工場”となり、ゆずの香り一杯に包まれた。久々に包丁を握り家事をした女性患者様方には、思わず笑顔がこぼれた。もちろん、男性陣もゆず絞りで貢献した。皆で作ったゆず茶は午後の喫茶会でもふるまわれ大きな反響をよんだ。来店されたお客さん達からは一様に「やっぱりこの味!」と感嘆の声があがった。季節を感じる活動が患者様方に喜びをもたらした瞬間だった。

やっぱりこの味!

果汁をギュッとしぼり、ハチミツ、砂糖と一緒に鍋に加える。



お湯にお好みのゆずエキスを入れてゆず茶の完成!

ふじの温泉

発案者

本館患者様

第12号

2012年1月号

編集後記：どうなる二〇一二年? どうなるリハビリ課? どうなるふじの温泉病院? まずはできることからコツコツと。できないこととはできないので... (苦笑)。



漫画から世界の名作まで、様々なジャンルの書籍を蔵書している。気軽に借りることができるので長い入院生活を送る患者様には嬉しいサービス!

数十冊から始まったふじの森図書室(本七)だったが、二〇一二年一月でついに蔵書の冊数が三〇〇〇を突破した。これまで患者様のために進んで図書の寄贈をして下さった方々に改めて感謝、感謝、感謝。本の数だけ患者様の満足がある! そう思い、リハビリの一環として図書室運営に今後力を入れていきたい。同時に来場者数も八百に届く勢いで、今後有意義な入院生活としていただくために助けになれば本当に嬉しい。皆様どうぞ、お気軽にふじの森図書室へお立ち寄り下さい。

祝いに三〇〇〇冊突破!

2012年1月現在図書室

本の冊数は **3143冊**

来場者は **795名**です。

皆様の寄贈により図書室は運営されています。感謝します。

図書の寄贈はリハビリ(本7)大内までお願い致します。

月刊本館リハビリテーション新聞編集：本館作業療法課 協力：行事運営の患者様方

この新聞は本館各病棟、本館作業療法室、職員食堂、本館3階受付、運営スタッフ、今月のこの人に合計10枚配布しています。